

青少年育成町民の集いを開催しました

12月4日(土)に中央公民館にて青少年育成町民の集いを開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染症の感染対策として、定員を100名とし、表彰式と青少年の主張、講演会を行いました。

表彰式では、長年、青少年の育成に携わり、町の青少年健全育成に貢献された方の表彰を行いました。また、青少年の主張作文で坂祝中学校3年生の中から優秀賞に選ばれた2名の方の表彰を行いました。

青少年の主張では、優秀賞に選ばれた2名の作文をステージ上で発表をしていただきました。発表した作文は、広報2月号で掲載します。また、青少年の主張の様子は、YouTubeで3月末まで配信しますので、ぜひご覧ください。



※YouTubeの配信は、限定公開で配信します。URLまたはQRコードを読み込んで視聴してください。

また、講演会では、笑福亭鶴笑氏を講師に招き、「人を傷つけない本当の笑い」と題して講演会をしていただきました。さまざまな話のネタや、体を使ったパフォーマンスなどがあり、会場から拍手や笑い声が絶えない講演会でした。



◆ 青少年健全育成功労者表彰

個人表彰 酒向 浩行さん

◆ 青少年の主張優秀賞

中学3年生 小森 愛音羽さん
中学3年生 藤木 叶愛さん

◆ 青少年の主張

「介(たす)け合って生きていくために」

小森 愛音羽さん

URL: <https://youtu.be/sCjshhRM7fM>

配信動画へ



「私が世界からなくしたいもの」

藤木 叶愛さん

URL: <https://youtu.be/b3aJIZu9CCc>

配信動画へ



第23回 ほのぼのタウンコンサート開催

今回のほのぼのタウンコンサートは、トム兼松さんにギターの演奏をしていただきます。開催日程は次のとおりです。皆さまの来場をお待ちしています。

開催日: 2月26日(土)

場 所: 中央公民館 1階ホール

開 場: 午後1時30分

開 演: 午後2時

入場料: 無料

定 員: 150名

その他: 2月1日(水)から中央公民館で整理券を配布します。

ご来場される方は整理券の申し込みをお願いします。



※新型コロナウイルス感染症の影響により、内容、定員数等が変更となる場合があります。町ホームページでご確認いただくか、中央公民館(66-2409)へお問い合わせください。

令和3年度 第2回 コミュニティ・スクール(CS)開催

実施日：11月10日 於：中央公民館

坂祝町では、「学校運営協議会」と「地域・園・学校協働本部」をまとめてコミュニティ・スクールと呼んでいます。「学校運営協議会」は、小学校と中学校の経営方針をもとに学校を応援しています。また、「地域・園・学校協働本部」は、小中学校だけでなく町内の3つの園についても、地域が関わって活動を支援していこうというものです。「地域・園・学校協働本部」は3つの委員会があり、それぞれが課題に向けて活動しています。



学校運営協議会

浦田委員長から 子どもたちはいろいろな表彰を受けて頑張っている。十分協議等をして、3月の協議会までに、今年度のCSで「できた。」と成果があがることを願っている。

■ 小中学校の今年度の経営方針について説明(抜粋)

小学校 「たくましさ・豊かな心・健やかな体」を育てる経営をしている。

- ① 「たくましさ」は、先端技術が進む Society5.0を生き抜くたくましさを育てるために ICTを活用している。たとえば、オンラインによるオーストラリア人との交流や、特別支援学級では、小中学校の交流を行った。また、タブレット等のデジタル端末を利用した個別最適化学習や、SDGsタイムでの持続可能な未来の担い手の育成を図った。
- ② 「豊かな心」の育成においては、いじめの早期発見、早期解決を心がけている。
- ③ 「健やかな体」は、自助・共助・公助を意識した防災学習に取り組んでいる。現在、骨折が多いので気を付けるように指導している。

中学校 「明日も来なくなる学校・笑顔あふれる学校をめざして」という重点目標をもとに経営をしており、自己決定の場・自己存在感・共感的な人間関係を大事にしている。

- ① 体育大会では、生徒の主体性を生かした活動が繰り広げられた。
- ② 全国学習状況調査の結果から
 - ・国語に課題がみられる。特に自分の考えをまとめ文章で表現する力を育成するために1時間の終わりに3行、5行まとめを取り入れるようにした。
 - ・「自分に良いところがある」は、全国平均より上だった。「将来の夢がある」については下だったので、キャリア教育のありかたを考えていきたい。
- ③ 2学期の生徒指導事案については、1学期より減少し、きちんと解消している。
- ④ 部活動の地域への移行などについて見直しを図っている。
- ⑤ 令和4年度からブレザー型の制服を選択肢の一つに加える。



■ ご意見から

- ① 小学校のSDGsタイムの取り組みはどんな活動がされているか等
環境問題や人権問題など、自分がやりたい目標を決めて、いろんな方にも協力してもらって取り組んでいる。学級や学年の枠を超えて、どんな取り組みをどういう風にするかを自己選択、自己決定しながら取り組んでいる。こうした自己選択、自己決定できる活動は素晴らしいというご意見がありました。
- ② 中学校のブレザー型制服の選択導入
制服の決定については、子どもや保護者の意見を取り入れてから始めてもよかったのではないかと。ジェンダーについては、もっと子どもたちが学習するなどして、心を耕してからスタートすると、納得して着ることができるのではないかと。値段が高いものなのでいろいろな業者から選ぶことも配慮できるとよい

のではないかと。いつまで選択制なのか見通しがあると決めやすい。金額や必要性を含めて保護者に説明をしてもらいたい。ブレザーの制服を取り入れることで、分裂の懸念や、新たないじめがおきないかなど、保護者代表や地域の方々からのご意見が寄せられました。

それに対し、教育長から「スピード感をもってやりました。混在する制服をブレザーに何年後に揃えるという見通しは今のところありません。いじめが起きないように学校が配慮しながら進めていきます。」との返答がありました。



地域・園・学校協働本部

スローガン:「育もう 未来の芽と郷土愛 ～ 地域の中に園・学校を、園学校の中に地域を～」

■ 全体会

- 高橋本部長から 東京都三鷹市のCSの取り組みをweb会議で見た。三鷹市のCSが成功しているのは家庭教育の向上からという報告だった。

● 3つの委員会からの報告

第1回の会の内容や当日までの取り組みについての報告がありました。

《ふるさと・絆委員会》永松委員長

「ふるさと坂祝を大好きにする」ために、教えてくれるボランティア募集のチラシを配布したところ少しずつ参加者が増えている。学校のふるさと学習にも参加した。

《地域・スポーツ委員会》菅沼委員長

文科省からは、令和5年度から休日の部活動を地域にとった方針が出た。町として今後どうしていくかについて、7月と10月に保護者や、地域の指導者との会合を設けて意見交換した。

《多文化共生委員会》梅田委員長

子どもの指導には親の巻き込みも必要であるという結論に至っているので今後考えていく。外国人の学力向上のために、放課後学習を行っているが、日本人の子も参加できるようにした。



■ 分科会

各委員会に分かれて、現在の状況や今後について話し合いがされました。

【ふるさと・絆委員会】

コロナ禍も収まってきたので、こども園では芋ほり、防犯教室を実施。幼稚園では小学校に向けて徒歩通学体験を実施。小学校では社会見学の事前学習など、中学校では1年生の伝統文化を学ぶ会など地域の方々による活動が展開された。関わった方々から声をかけるなどボランティアを増やしていきたい。

【地域・スポーツ委員会】

7月と10月の協議会の振り返りをし、今後の協議の方向性について話し合った。各部の状況を聞き、それを次回協議会の議題とし、具体的な休日の活動について決めていきたい。CSで中学校部活動について話し合っているが、坂祝町の生涯スポーツをどう進めるかが大切。まずは中学校の活動を、スポーツを楽しみ、参加できるものにしていけるとよい。

【多文化共生委員会】

外国人の子どもを育てるには、保護者を巻き込む必要がある。その一つとして、公民館祭りに外国のお菓子を作って配ったり、活動の様子の展示をしたりしたい。中学校は、基礎定着ができていないために苦労している。小学校で基礎学力を付けてほしい。小学校は外国人向けの放課後学習を実施している。外国人の保護者と信頼関係を築き、相談に乗れるようにすることも大切である。